

日本混相流学会 2009 年度第 3 回理事会・議事録

日時： 2010 年 3 月 6 日（土） 13:00-17:30

場所： 龍谷大学大阪梅田キャンパス

（大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14 階）

出席者：社河内会長、三島筆頭副会長、功刀資彰副会長、齋藤副会長、道奥情報部会長、竹村企画部会長、土屋国際部会長、辻本総務部会長、岡本理事、佐藤理事、末包理事、高曾理事

オブザーバー：佐田富 論文審査委員長、内山 オーガナイズド混相流フォーラム実行委員長、塩見 インターネット運営委員長、齊藤(泰)総務委員、事務局

議題と配布資料：

1. 前回議事録の確認 [資料 2009-3-01]
2. 評議員・監事選挙結果と会長選挙について [資料 2009-3-02]
3. 情報部会活動報告
 - ① 情報部会活動報告 [資料 2009-3-03]
 - ② 論文審査委員会報告 [資料 2009-3-04]
4. 企画部会関連報告
 - ① 研究企画委員会 [資料 2009-3-05]
 - ② 第 35 回混相流レクチャーシリーズ報告 [資料 2009-3-06]
 - ③ 学生会活動状況報告 [資料 2009-3-07]
 - ④ OMF について [資料 2009-3-08]
5. 国際部会報告（活動報告、事業計画他） [資料 2009-3-09]
6. 総務部会報告
 - ① 学会賞について（募集、表彰状）
 - ② 総務部会報告 [資料 2009-3-10]
7. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会報告 [資料 2009-3-11]
8. その他
 - ① 2011 年会講演会開催地について
 - ② 英文 Journal について
 - ③ 日本混相流学会 学生優秀講演賞に関する内規について [資料 2009-3-12]
 - ④ 法人化、財務諸表、「混相流シンポジウム」について [資料 2009-3-13]
 - ⑤ 研究企画委員会・OMF の財政支援について [資料 2009-3-14]
 - ⑥ ML 配信について
 - ⑦ 入会について
 - ⑧ 学会の出版事業について
 - ⑨ 次回理事会の日程について
 - ⑩ 次年度理事・役員について [資料 2009-3-15]

議事：

1. 前回議事録の確認

資料 2009-3-01 に基づき、辻本総務委員長から 2009 年度第 2 回議事録の確認があり、議事録として承認した。

2. 評議員・監事選挙結果と会長選挙について

資料 2009-3-02 に基づき、日本混相流学会 2010 年度評議員・監事選挙の結果が報告され、理事会で承認された。なお、転勤のため地区変更となる評議員が 1 名生じたが、引き続き評議員をお引き受けいただくこととした。本選挙結果に基づき、会長選挙を行うことが確認された。

3. 情報部会関連報告

①道奥情報部会長より、資料 2009-3-03 に基づき、第二回、第三回編集委員会の報告がされた。24 巻 3 号までの編集内容などが紹介された。

- ・ 「混相流」の JST アーカイブ化に関し、Vol. 21 以降については有償化となる。審議の結果、従来どおり総説、解説、特集記事についてもアーカイブ化とすることとし、それに伴う手続き（著作権等）や予算処置については編集委員会で引き続き検討することとした。
- ・ 次回 ICem News Letter に関し、発刊時期変更の原案が示され、承認した。
- ・ 次年度編集委員会委員長の推薦があり、承認した。
- ・ 混相流 23 巻 5 号の体裁案が示され、承認した。

②佐田富論文審査委員長より資料 2009-3-04 に基づき、年会講演会 2009 論文精選集、論文審査に関する報告がされた。

- ・ 論文審査委員の選定に関して、各会員の専門分野（キーワード）をデータベース化する提案があった。審議の結果、データ収集に関して、インターネット委員会で対応策について検討することとなった。
- ・ 論文精選集の発刊時期についての提案があった。編集委員会等の負担も勘案し、投稿期限を少し前倒しする方向について検討いただければとの意見があった。
- ・ 年会講演会での座長推薦による論文投稿（今年度実施）の提案があり、次回の年会でも実施することとした。これに関し、推薦後、著者への投稿勧誘メールは年会実行委員長が送付するものとすることを確認した。

4. 企画部会関連報告

①竹村企画部会長より資料 2009-3-05 に基づき、研究企画委員会の報告があった。

- ・ 2つの分科会より予算の要望があり、承認した。
- ・ 研究企画委員会の 3 年延長につき承認した。

②竹村企画部会長より資料 2009-3-06 に基づき、第 35 回混相流レクチャーシリーズの会計報告があった。

③末包学生会担当理事より資料 2009-3-07 に基づき学生会活動状況報告があった。

④内山 オーガナイズド混相流フォーラム実行委員長より資料 2009-3-08 に基づき OMF2009 の会計報告があった。

- ・ 参加状況が芳しくないことから開催について審議された。その結果、従来どおり今後も開催することとした。
- ・ 奈良林理事（代理 辻本）より OMF2010 の案について報告があった。他のイベントとの関係から、11/6, 7→11/13, 14 への変更することの報告があった。

5. 国際部会報告

土屋国際部会長より資料 2009-3-09 に基づき、ICEM 運営委員会についての報告があった。また、口頭で関連イベントのスケジュールについて報告があった。

- ・ ICMF へ参加する若手会員の支援につき、ICMF 運営委員会より 2 名の推薦があり、承認した。さらに追加募集することとし、ML、Web での案内案を ICMF 運営委員で準備することとなった。
- ・ ICMF も含め、他の国際部会関連の委員会からの報告が不十分ではないかとの指摘があった。これからの理事会では必ず、現状報告いただくよう国際部会へ強い指導があった。

6. 総務部会報告

①学会賞について（募集、表彰状）

三島筆頭副会長より 9 件の応募があり、選考中であるとの報告があった。

②総務部会報告

辻本総務部会長より資料 2009-3-10 に基づき、総務部会関連活動について報告があった。
評議員候者の投票用紙に不備があり、それについて、総務部会長よりお詫びがあった。選挙手続きについて、きちりとした引き継ぎが励行されることを確認した。

7. 年会講演会・混相流シンポジウム実行委員会報告

齋藤実行委員長より、資料 2009-3-11 に基づき 3 月号の会告の紹介、ならびに別添資料に基づき講演投稿状況について報告があった。

8. その他

①2011 年会講演会開催地について

功刀副会長より、京都での開催を予定、日程、会場については調整中であるとの報告があった。

②英文 journal について

岡本理事より、現況の報告があった。他 Journal の状況も勘案すると新しい Journal の立ち上げは難しく、今期より休刊となる「混相流の研究の進展」‘Progress in Multiphase Flow Research’ を利用した英文 Journal の運用が現実的ではないかとの報告があった。今年度の重要な達成課題であり、岡本理事に引き続き検討依頼することとした。

③日本混相流学会 学生優秀講演賞に関する内規について

末包理事より、資料 2009-3-12 に基づき複数回の受賞を制限する内規（修正案）の提案があり承認した。

④法人化、財務諸表、「混相流シンポジウム」について

社河内会長より資料 2009-3-13 に基づき、報告があった。

- ・財務諸表の作成に関して 2008 年度分を含め、3 年間、年 20 万円の作成費用のお願いがあり承認した。
- ・第 29 回 混相流シンポジウムについては、主催：日本学術会議、幹事学会：日本混相流学会、で開催することとした。なお、次年度以降の主催、共催については、見直しを検討することとした。

⑤研究企画委員会・OMF の財政支援について

齋藤副会長より資料 2009-3-14 に基づき、財政支援の提案があった。

- ・年会での剰余金を OMF、研究分科会へ配分することについて審議したが、従来どおりの予算処置で運用することとした。本件に関連して、会費の値上げについても次年度以降検討してはとの意見があり、継続審議することとした。

⑥ML 配信について

塩見 インターネット運営委員長より配信手続きの変更に関する提案があった。審議の結果、総務部会長、インターネット委員長で配信手続きの変更案を検討することとした。

⑦近藤事務局長より別添資料に基づき、入会者と退会希望者、会費未納者について報告があった。退会希望者については慰留に努め、会費未納者には支払いの催促を引き続き行うことを確認した。

⑧学会の出版事業について

功刀副会長より、「学会の出版事業について、混相流の専門書を学会でまとめ、出版する件につき寺坂先生から提案が有る」との報告があり、引き続きご検討、ご提案を依頼することとした。

⑨次回理事会の日程について

第 4 回：平成 22 年 6 月 12 日(土)13:00-17:00(東京) 会場未定

以上

総務委員長：辻本公一